

第13回 お茶の水小学校・幼稚園施設整備検討協議会 次第

平成31年3月26日（火）午後6時～
お茶の水小学校 ランチルーム

- 1 開会
- 2 新委員紹介
- 3 実施設計（案）の中間報告について
- 4 その他

資料リスト

資料－1 協議会委員名簿

資料－2 各階平面図（案）

参 考 教室間仕切りについて

お茶の水小学校・幼稚園施設整備検討協議会委員

	団体名・役職名	氏名
1	お茶の水小学校 及び同幼稚園PTA関係者	小学校・幼稚園児童保護会会長 山崎 充彦
2		小学校・幼稚園児童保護会顧問 須賀 雄一郎
3		小学校・幼稚園児童保護会役員 熊井 淑子
4		小学校・幼稚園児童保護会役員 春田 紀子
5		小学校・幼稚園児童保護会（わかば会） 倉木 嘉代子
6		小学校・幼稚園児童保護会（わかば会） 土屋 真美
7	錦華小学校同窓会関係者	会長 高山 肇
8	小川小学校同窓会関係者	会長 角谷 幹夫
9	西神田小学校同窓会関係者	会長 西角 邦夫
10	お茶の水小学校学校運営連絡会	委員 影山 純子
11	神保町地区町会連合会関係者	神保町一丁目北部町会会長 角谷 幸男
12		西神田町会会長 中村 榮太郎
13		神田猿楽町町会会長 渡邊 圭一
14		駿河台西町会 石澤 長一郎
15	神田公園地区連合町会関係者	小川町二丁目南部町会会長 木村 美佐子
16		小川町北三町会会長 小林 泰治
17		小川町三丁目西町会会長 田近 恭一
18	万世橋地区町会連合会関係者	駿河台東部町会 土屋 希美
19	神保町地区町会連合会婦人部	神田猿楽町町会婦人部長 五味 美智子
20	千代田区体育協会関係者	理事長 菅野 豊
21	千代田区民生児童委員協議会	副会長 角谷 幸子
22	千代田区青少年委員会	委員 小林 かおり
23	お茶の水小学校及び同幼稚園教職員	校長・園長 太田 耕司
24	千代田区教育委員会事務局職員	教育担当部長 村木 久人

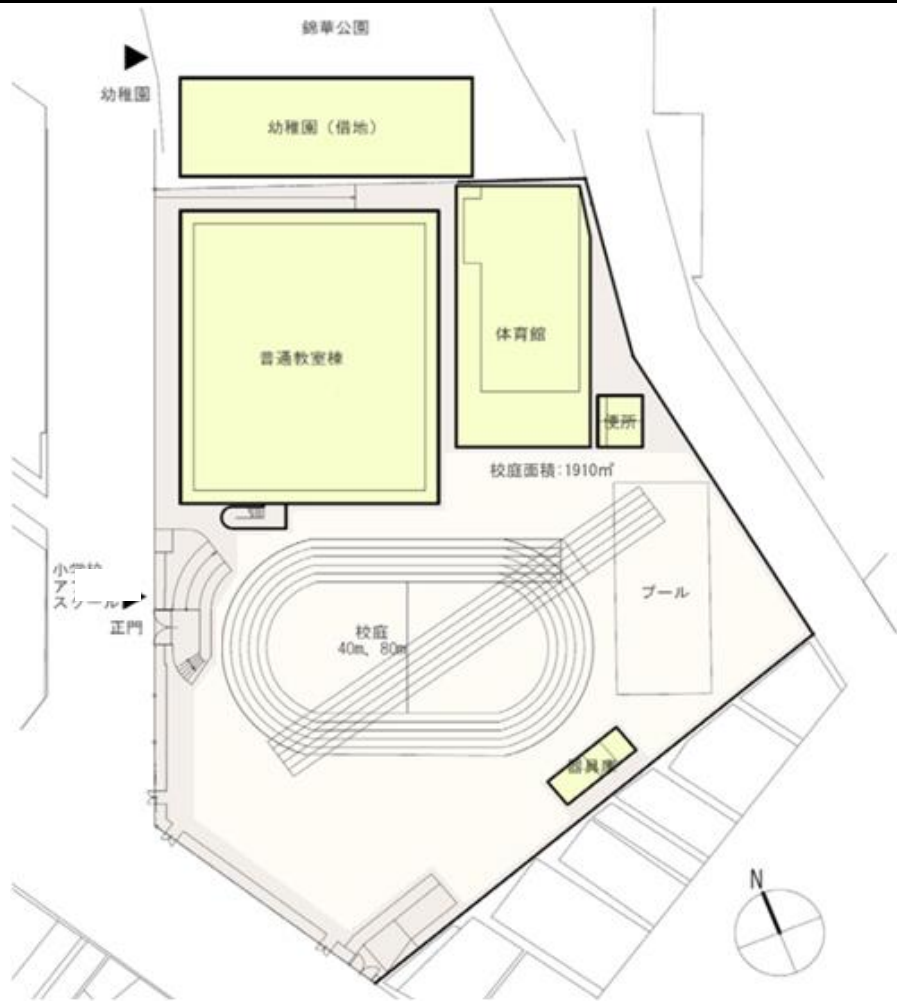
	オブザーバー	副校長	清水 智子
		副園長	松内 幸子
		神保町出張所長	小阿瀬広道
		神田公園出張所長	猿渡 裕司

順不同、敬称略

事務局 千代田区教育委員会事務局 子ども部 子ども施設課 ダイヤル： 03 (5211) 3648 FAX： 03 (3288) 3420 e-mail： kodomoshisetsu@city.chiyoda.lg.jp		
	子ども施設課長	小池 正敏
	施設計画担当係長	須貝 恵子
	施設係	赤石 晃朗

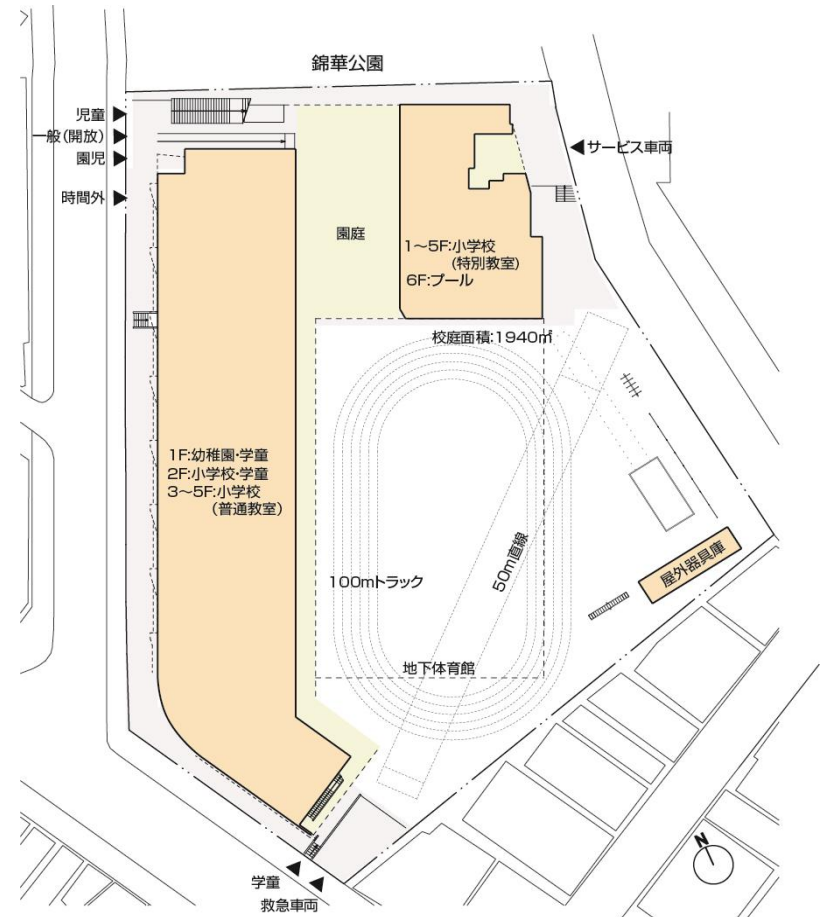
お茶の水小学校・幼稚園の施設整備について

現況



現況		
名称	お茶の水小学校	お茶の水幼稚園
竣工年月	校舎棟 S48.8 体育館棟 S40.11	H5.3
敷地面積	4850㎡	698㎡(錦華公園内)
構造・階数	校舎棟 RC造地上5階地下1階 体育館 RC造地上3階	S造 地上2階
延べ床面積	校舎棟 4792㎡ 体育館棟 560㎡ プール 289㎡(校庭内) 計 5641㎡	752㎡
容積率	110%(500－600%)	－
最高高さ	校舎棟 21m 体育館 12.5m	8.1m
階構成	1階 校長室、職員室、アフタースクール 2～4階 小学校普通教室、特別教室 3階 体育館 5階 特別教室 地下1階 給食調理室	1階 保育室、職員室 2階 保育室、遊戯室
動線(入口)	小学校 猿楽通りから アフタースクール 小学校とは別の出入り口	錦華公園内

計画



計画	
名称	お茶の水小学校・幼稚園
竣工年月	平成34年度完成予定
敷地面積	4850㎡
構造・階数	RC造地上6階地下2階
延べ床面積	約13500㎡
容積率	約280%(500－600%)
最高高さ	普通教室(猿楽通り沿い)側 23.95m 特別教室(錦華公園)側 31.61m
階構成	1階 幼稚園、アフタースクール 2階 小学校校長室、職員室、アフタースクール、多目的ホール 3～5階 小学校普通教室、特別教室 6階 プール 地下1階 給食調理室 地下2階 体育館
動線(入口)	幼稚園 猿楽通りから園庭(ピロティ)を通り、1階入口へ 小学校 猿楽通りから2階アプローチデッキを通り昇降口へ 施設開放 小学校と同じ動線で利用するが、シャッター等でセキュリティ管理を行う アフタースクール 小学校とは別に錦華通りに面して出入り口を設ける
スケジュール	実施設計 平成31年秋完了 予定 解体工事 平成31～32年度 予定 地下解体・新築工事 平成32～34年度 予定

オープン教室のメリット・デメリット

【メリット】

- 多様な学習形態や学習集団の弾力的編成に有効
- 学年や学校の一体感が期待できる。学年合同の授業を展開しやすい。単一のクラスでは出てきにくい多様なアイデアや意見に触れられる。クラスや学年を越えた人間関係の形成が期待できる。
- 教室を広くフレキシブルに使えるので、グループ学習、体験学習など多様な教育活動に対応できる。作業がしやすい（作業中の状態を残しておける）。
- 開放感があり、明るい教室環境になる。
- 他教室の様子が分かる。学級崩壊に対し抑止効果がある。
- 教室活用のルール（静かに過ごす、勝手に他の教室に入らない、教室を出る時には先生等に必ず言葉をかける等）を決めておくことで、規範意識を高めやすい。
- 巡回指導や見学がしやすい。教室が担任教師による閉鎖空間とならない。教員にいい緊張感が生まれる。

【デメリット】

- ▼他のクラスの音が聞こえやすい。話合い活動と小テストなど授業によっては同時に行いにくい。子どもの集中力が続かない。
- ▼聴覚過敏など、特別な支援を要する子供への配慮がより一層必要となる。
- ▼立ち歩き児童が他クラスに侵入しやすい。
- ▼不審者の校内侵入時に、ドア等で防ぎにくい。
- ▼オープン教室を活用するためには教員により高い授業力が求められる。
- ▼一つのクラスで学級崩壊が起こると他のクラスに波及しやすくなる。
- ▼空調の効きが悪くなる。
- ▼掲示物を貼るスペースが減る。
- ▼着替え等が行いにくい。



